



大げやき

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成

特別号

R4. 12. 9 発行



深谷小学校開校150周年記念式典 大変お世話になりました。御礼申し上げます。

【開会行事及びオープニング】

開会行事では、ご来賓を代表して深谷市長 小島 進 様、深谷市教育委員会教育長 小柳 光春 様からご挨拶をいただきました。市長さんは、本校の100周年時の卒業生であり、児童会の副会長として活躍された当時の様子を話されました。また、100周年時の児童会長であり、150周年の実行委員を託された 小内 睦夫 様が100周年卒業生を代表してご挨拶をされました。開会行事終了後、60秒カウントダウンによるオープニングムービーから始まり、5・6年生の鼓笛隊による校歌演奏、そして150周年を祝うスライド映像など、会場が大いに盛り上がりしました。開会行事では押野見PTA副会長さんが司会を務めました。オープニング以降は、6年生 田中 良侑さん・5年生 吉江 優乃介さんが行いました。



小島市長

小柳教育長

小内 100 周年児童会長

カウントダウン映像

鼓笛隊演奏

司会進行

【2年生の発表】あなたは2年生よりこの町を知ってるの？



トップバッターは2年生。町探検で見つけた深谷市に関する発見を「深谷市役所で働いている人は何人いるでしょうか？」のように○×や三択のクイズにし、会場の皆さんに出題しました。「正解者が多かったので踊ります。」の合図とともにステージ上でかわいいダンスを披露しました。とってもノリのいい元気な2年生でした。

【1年生の発表】だいすき！ふかやしょうがっこう（通学路で見つけたよ）



1年生は、学校での授業や生活で学んだことを「呼びかけ」形式で発表しました。また、通学路で見つけた深谷小学校区内の様々なお店等を紹介しました。最後に全員で『だいすき！ふかやしょうがっこう』の歌を元気よく歌いました。一人一人が大きな声でしっかりと呼びかけ、成長した姿を披露しました。会場中から「1年生、かわいい」の声があふれていました。

【タイムカプセル開封&卒業生にインタビュー】



8/20にタイムカプセルを掘り出しましたが、その時の映像を見ながら、100周年卒業生代表の4名のみなさん（小内 睦夫さん、岡部 登さん、中里 範子さん、河田 明子さん）とともに50年前のタイムカプセルが登場しました。インタビュアーを務めたのは、6年生の芳賀 海斗さんと本道 琉生さんです。それぞれの方に当時の思い出や今のお気持ちなどをインタビューしました。最後にタイムカプセルの中に「50年後にこれで乾杯してほしい」という言葉を添えて埋められていたウイスキーに見立てたウロン茶で乾杯し、150周年のお祝いとしました。また、25年後（175周年）に向けて、新たなタイムカプセルを埋めることを会場の子供たちと約束しました。

【4年生の発表】合奏「アマリリス」



4年生は、深谷地区音楽会及び北部地区音楽会でクラスごとに演奏した『アマリリス』を今回は学年全員で合奏しました。夏休み中から練習に練習を重ねて仕上げた曲です。4年生の頑張りは、見事としかいいようがない出来栄でした。一つの曲を作り上げるために、みんなで努力した結晶がこの『アマリリス』です。4年生、流石です。

【3年生の発表】中山道商店のひみつ大調査



中山道のお店をグループごとに調べ発表してくれた3年生。そのお店の歴史や取り扱っている商品の説明など、お店の方々にインタビューした内容を丁寧にまとめ紹介しました。地域を知することは、地域を大切に思う心を育成することにつながります。深谷をこよなく愛する3年生の発表に未来を担う可能性を感じました。

【深谷小のゆるキャラ発表及び村岡 桃佳さんのメッセージとインタビュー動画】

ふっかちゃん、重忠くんが登場し、会場を盛り上げ、深小ゆるキャラ投票結果を発表しました。2年生佐藤 美結さんが作成した「うさむらいさん」がゆるキャラに選ばれました。おめでとうございます。その後、村岡 桃佳さんのインタビュー動画（インタビュアー：6年生 木村 皇亮さん、木村 武尊さん）を視聴し、「夢をもつことの大切さ」を村岡さんが子供たちに話してくれました。



【6年生の発表】深谷市産業祭実践報告会（産業祭でキャリア教育）



産業祭の活躍で、深谷小学校の名を大いに高めてくれた6年生。「農業チーム、募金チーム、PRチーム、エコチーム」それぞれが取り組んだ内容と成果、そして振り返りの課題を発表しました。準備段階から当日を迎えるまでの頑張りは目を見張るものがありましたが、さらに上を目指す姿に最高学年のプライドと頼もしさを感じました。

【5年生の発表】ソーラン節



学年発表のトリを務めたのは、5年生のソーラン節。これでもかという大きな掛け声とともに会場いっぱいに広がって、「どっこいしょ、どっこいしょ」と壮大な踊りを披露しました。その力強さと気持ちの入った踊りは、観る者の心を熱くしました。黒法被の背中には、それぞれの想いを表す漢字一文字が施されていて、このソーラン節にかける5年生の思いと願いを感じました。

【150周年記念宣言、ドトールコーヒー名誉会長 鳥羽 博道 様のメッセージ、エンディング】



宮阪 蒼史さんを中心とした代表委員会が「深小っ子一人一人が助け合い、支え合い、最高のあいさつで最強の深谷小学校」にしよう！と150周年記念宣言を行った後、本校卒業生でもある鳥羽会長さんに「特別名誉卒業生」として子供たちが手作りで作成した表彰

状及び記念メダル、そして花束を授与しました。最後に校歌を大合唱し、エンディングとなりました。